



考えてください なぜ清掃は大切なのか？



昨年度の浦島伝説 No.16・17号で、みなさん一人一人に「なぜ、あいさつは大切なのか」考えてもらいました。今回は全校生のみなさんに掃除について考えてほしいと思います。今回も、以下の文章は、正解でも解答でもありません。間違っているかもしれません。みなさんが清掃について、自分なりに考えるきっかけとしてください。

なぜ掃除をするのか？なぜ掃除は大切なのでしょうか？人によっていろいろな理由が考えられると思いますが、私は次の4つを考えています。

1 その場所がきれいになり、自分が気持ちよくなるから

掃除をすれば、その場所がきれいになることは当然ですが、掃除をした人の気持ちもきれいになり、気分がよくなります。みなさんも、掃除を一生懸命した後の何とも言えない気分よさを味わったことがあると思います。

2 その場所を使う人が、気持ちよく使えるから

きれいに掃除、整理・整頓がされている部屋（場所）に入ると、いつもより効率的に勉強がはかどったという経験はありませんか。不潔なトイレに入って、気分が悪くなった経験をしたことはありませんか。学校でも、きれいに掃除された教室を使うと「やる気」がわいてきます。一方、何日も掃除をしていない、ごみやほこりが目立つ教室を使わなければならないときは、テンションが下がってしまいます。

3 昔からずっと社会全体がしているから

あいさつと同じように、社会生活を円滑に行っていくために、お互いが気持ちよく過ごすためのマナーとか常識として、家、人が集まる場所、地域などの掃除が昔から行われています。

4 心が磨（みが）かれるから

多くの人々が、掃除を自分の心を見つめる機会、人格を高める機会としてとらえています。著名人が、次のようなことを語っています。

- 掃除をすると、心がすっきりとして、周囲との人間関係がうまくいく、仕事（勉強）に集中できる。
- 掃除を続けることで辛抱（しんぼう）ができるようになり、その辛抱が人を成長させる。
- 掃除を一生懸命にしていると、いろいろなことに気付けるようになり、感謝の心が芽生える。

学校はもちろん、社員全員で毎日掃除を行っている会社が数多くあります。大学駅伝で有名な青山学院大学駅伝部では、トイレや風呂の掃除のマニュアルがあり、それを全部員が徹底して行っていることが知られています。また、日本を代表するお笑い芸人、俳優、映画監督の北野武（ビートたけし）さんは、若い頃に、師匠からトイレをきれいに掃除するように言われてから30年以上ずっとトイレ掃除をやり続けてきたそうです。そして自分が成功しているのは、トイレ掃除のおかげだと語っています。

やらされている掃除、いやいやしている掃除では、何も身に付きません。掃除をする意味を、自分なりに考えてみましょう。掃除や片付けをした後の気分を思い出しながらかけてください。一人でも多くの人々が、「掃除って大切だよな〜」「掃除をすると気分いいよな」と思ってくれることを期待しています。

- ◇ 目の前のごみを拾えない人間に、大きな夢をつかめるはずがない（古賀稔彦）
- ◇ 家の中を整理することは、自分自身を整理すること（カレン・キングストン）
- ◇ いまだかつて、倒産した企業で、きれいに整然と掃除が行き届いていた会社はありません（鍵山秀三郎）
- ◇ 人間の心は、そう簡単に磨けるものではありません。ましてや、心を取り出して磨くなどということはできません。心を磨くには、とりあえず、目の前に見える物を磨き、きれいにするのです。とくに、人の嫌がるトイレをきれいになると、心も美しくなる。人は、いつも見ている物に心も似てきます（11）